

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第3区分  
 【発行日】平成18年3月30日(2006.3.30)

【公開番号】特開2001-352312(P2001-352312A)  
 【公開日】平成13年12月21日(2001.12.21)  
 【出願番号】特願2001-108609(P2001-108609)  
 【国際特許分類】

**H 0 4 J 11/00 (2006.01)**

**H 0 4 L 29/08 (2006.01)**

【F I】

H 0 4 J 11/00 Z

H 0 4 L 13/00 3 0 7 C

【手続補正書】

【提出日】平成18年2月14日(2006.2.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数のデータ通信装置間でディスクリットマルチトーン変復調方式によりデータ通信を行うと共に、所定周期で発生する干渉ノイズに基づいて当該所定周期内でデータ送信に適した期間であるデータ送信期間と当該データ送信期間以外の期間である準データ送信期間とを設定する通信装置において、

前記所定周期1周期内で送信すべきデータを、前記所定周期1周期内における前記データ送信期間と前記準データ送信期間とに割り当て、前記データ送信期間及び前記準データ送信期間の送信するデータが割り当てられなかった部分にダミービットを割り当てて送信する通信装置。

【請求項2】 前記所定周期1周期内で送信すべきデータを、前記所定周期1周期内における前記データ送信期間と前記準データ送信期間とに割り当て、前記データ送信期間及び前記準データ送信期間の送信するデータが割り当てられなかった部分にダミービットを割り当てる低伝送遅延モード、或いは前記データ送信期間に均一に送信するデータを割り当てる通常モードを適宜選択し、この選択したモードで前記送信するデータのビット割り当てを行う請求項1に記載の通信装置。

【請求項3】 複数のデータ通信装置間でディスクリットマルチトーン変復調方式によりデータ通信を行うと共に、所定周期で発生する干渉ノイズに基づいて当該所定周期内でデータ送信に適した期間であるデータ送信期間と当該データ送信期間以外の期間である準データ送信期間とを設定する通信装置において、

受信したデータのうち前記所定周期1周期内における前記データ送信期間及び前記準データ送信期間に割り当てられたデータに基づいて前記所定周期1周期分の全データを再生する通信装置。

【請求項4】 前記所定周期1周期内で送信すべきデータを、前記所定周期1周期内における前記データ送信期間と前記準データ送信期間とに割り当て、前記データ送信期間及び前記準データ送信期間の送信するデータが割り当てられなかった部分にダミービットを割り当てる低伝送遅延モード、或いは前記データ送信期間に均一に送信するデータを割り当てる通常モードを適宜選択し、この選択したモードに応じてデータを再生する請求項3に記載の通信装置。

【請求項5】 前記所定周期1周期内における前記データ送信期間に割り当てるビッ

ト数と前記準データ送信期間に割り当てるビット数との差が少なくなるようにビット割り当てを行う請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 6】 複数のデータ通信装置間でディスクリートマルチトーン変復調方式によりデータ通信を行うと共に、所定周期で発生する干渉ノイズに基づいて当該所定周期内でデータ送信に適した期間であるデータ送信期間と当該データ送信期間以外の期間である準データ送信期間とを設定する通信方法において、

前記所定周期 1 周期内で送信すべきデータを、前記所定周期 1 周期内における前記データ送信期間と前記準データ送信期間とに割り当て、前記データ送信期間及び前記準データ送信期間の送信するデータが割り当てられなかった部分にダミービットを割り当てて送信する通信方法。

【請求項 7】 前記所定周期 1 周期内で送信すべきデータを、前記所定周期 1 周期内における前記データ送信期間と前記準データ送信期間とに割り当て、前記データ送信期間及び前記準データ送信期間の送信するデータが割り当てられなかった部分にダミービットを割り当てる低伝送遅延モード、或いは前記データ送信期間に均一に送信するデータを割り当てる通常モードを適宜選択し、この選択したモードで前記送信するデータのビット割り当てを行う請求項 6 に記載の通信方法。

【請求項 8】 複数のデータ通信装置間でディスクリートマルチトーン変復調方式によりデータ通信を行うと共に、所定周期で発生する干渉ノイズに基づいて当該所定周期内でデータ送信に適した期間であるデータ送信期間と当該データ送信期間以外の期間である準データ送信期間とを設定する通信方法において、

受信したデータのうち前記所定周期 1 周期内における前記データ送信期間及び前記準データ送信期間に割り当てられたデータに基づいて前記所定周期 1 周期分の全データを再生する通信方法。

【請求項 9】 前記所定周期 1 周期内で送信すべきデータを、前記所定周期 1 周期内における前記データ送信期間と前記準データ送信期間とに割り当て、前記データ送信期間及び前記準データ送信期間の送信するデータが割り当てられなかった部分にダミービットを割り当てる低伝送遅延モード、或いは前記データ送信期間に均一に送信するデータを割り当てる通常モードを適宜選択し、この選択したモードに応じてデータを再生する請求項 8 に記載の通信方法。

【請求項 10】 前記所定周期 1 周期内における前記データ送信期間に割り当てるビット数と前記準データ送信期間に割り当てるビット数との差が少なくなるようにビット割り当てを行う請求項 6 に記載の通信方法。

【請求項 11】 複数のデータ通信装置間でディスクリートマルチトーン変復調方式によりデータ通信を行うと共に、所定周期で発生する干渉ノイズに基づいて当該所定周期内でデータ送信に適した期間であるデータ送信期間を設定する通信方法において、

前記所定周期 1 周期内で送信すべきデータを、前記所定周期 1 周期内における前記データ送信期間に送信できるようにビット割り当てを行い、前記データ送信期間の送信するデータが割り当てられなかった部分にダミービットを割り当てて送信する通信方法。